



小磯つうしん

第 21 号
2015年(平成27年)
10月15日(木曜日)

発行 ケアハウスグリーンライフ小磯
郵便番号 963-1411 福島県郡山市湖南町舟津字小磯5112-1
TEL(024)992-0288 FAX(024)982-3232

ケアハウス



ドライブに行ってきました★



大空に飛び立つ飛行機に感激

たまには外食もいいですね

10月1日(木)福島空港に行きました。普段見ることがない飛行機を前に皆さん興味津々。大阪からきた飛行機をデッキから眺め、飛び立つ飛行機を手を振って見送りました。

昼食は滑走路が良く見えるレストランで、お好みのものを注文して楽しまれた後、お土産売り場では、お菓子や漬物、キーホルダーなどを購入されていました。「もっとゆっくり見て買いたかった。」との声も聞かれましたが、楽しい時間を過ごしました。



8月24日(月)「ウナギが食べたい。」「お寿司が食べたい。」とのご要望に応え外食に出掛けました。うなぎは老舗の三國、お寿司はま寿司と二手に分かれ、それぞれ目的の好物をじっくりと味わいました。男性の中には、お酒を注文して少し顔を赤らめながらうなぎを召し上がった方も。また、お寿司屋さんを訪れた皆さんは、あさりの味噌汁を飲みながら、好みのお寿司を注文していました。

敬老会

敬老の日を前にした9月18日(金)、昼食の献立はお祝膳(赤飯、刺身など)でした。最高齢は女性97歳、男性91歳。平均年齢は82歳。ケアハウスの入居者の皆さんは、年齢よりも若く映ります。長生きの秘訣はとの問いに「美味しいものを食べ、よく寝て適度に運動をして、大いに笑うこと。」と答えていました。所長が「益々お元気にお過ごしください。」とお祝いの言葉を述べた後、太田理事長からの記念品が贈られました。その後、職員による大黒舞やボランティアの皆さんによるフラダンスが披露され長寿を祝いました。



小磯バーベキュー

夏の行事の一大イベント「バーベキュー祭り」を8月1日(土)に開催しました。新しく入居された方の乾杯でスタート。入居者の皆さんによる元気クラブで練習を重ねてきた踊り(憧れのハワイ航路)や、ボランティアのなでしこの会による歌・踊りと、アロハ・フラの皆さんによるフラダンス。書道クラブの先生と太田理事長からは歌が披露されました。焼肉、ホタテ、焼鳥など焼き物が次から次と準備され、ジュースや生ビールを飲みながら楽しみました。



まんまるい月がでますように

9月27日の十五夜を前にした9月25日（金）。皆さんでお月見だんごを作りました。以前に生菓子を作っていた入居者の方の指導を受け、まんまるいお団子ができあがりしました。団子はすすきや果物と共にお供えし、十五夜にはきれいなお月さまが見られることを祈りました。



小磯デイサービスセンター



賑やかに夏祭り 皆さん見てねで混ざんねがい

8月17日～21日まで、デイサービスの夏祭りを開催しました。職員が叩く太鼓、利用者の方が唄う盆歌に合わせ、祭り法被を着た職員と利用者の皆さんが輪になって踊りました。「若い頃は一晚踊ったもんだ。」と話す利用者の方もおり、太鼓の音に自然と体が動いてしまっているようでした。踊りの後は、おやつにかき氷や綿あめ、ラムネなどを召し上がり、夏祭りを満喫しました。



デイサービスで大いに楽しんで長生きしましょう



《誠祥会様》

9月21日の敬老の日を前に、9月14日から18日まで敬老会を開催しました。16日は湖南小学校6年生による合唱、手品、肩たたきのプレゼント。このほか、五扇会（14日）、なでしこ会（15日）、誠祥会（17日）、アロハ・フラ（18日）の皆さん。多くのボランティアの皆さんにご協力をいただき、毎日華やかに敬老会を行うことができました。唄や踊りの後は、太田理事長からの記念品と、デイサービスセンターから感謝状が利用者の皆さんに贈られました。



《湖南小学校様》



《アロハ・フラクラブ様》



《五扇会様》



《なでしこの会様》



湖南地区地域包括支援センター



お年寄りはお動くのが大変なんだ

9月18日、湖南小学校6年生を対象とした「高齢者疑似体験」を行いました。参加児童24名が4つのグループに分かれ、それぞれ車椅子体験、身体障害体験、視野体験、感覚体験を行いました。専用の器具を使用し、高齢者の視野は狭く見え難いこと。膝を曲げにくく歩くのも大変になることなど体感しました。この体験を活かし、思いやりの心で高齢者に接してほしいと願っています。

